

慶大野球部に習ったよ

八街で小中学生教室

慶応大学野球部の監督と選手が講師を務める「第39回 八街市少年野球教室」が11日、千葉黎明高校（八街市）で行われた。参加した市内の小中学生は、神宮の舞台で活躍する選手らの指導を熱心に聞きながら実技に励んだ。



この日は、プロ野球や社

会人野球チームでの指導経験がある大久保秀昭監督を始め、11月まで主将や副将を務めた重田清一選手や木村健人選手ら、マネージャーを含む4年生が参加。打球や打撃の基本を指導した。

プロ野球・日本ハムファイターズの大谷翔平選手と高校時代にチームメートだった小原大樹投手は投球を指導。八街中央中の阿部隼人君(14)は「説明がうまくて、分かりやすかった。慶応の選手のようにうまくなりたい」と目を輝かせた。

打撃を指導する大久保監督（八街市で）

各地で小中学生向け野球教室

慶大監督、選手から学ぶ

「教わったこと生かす」

八街

慶応大野球部の監督や選手を講師に迎えた八街市教委主催の少年野球教室が同市の千葉黎明高校グラウンドで行われた。市内の小中学生約100人が参加し、熱心な指導を受けながら元気なプレーを繰り返した。

「今年で39回目。過去には同大OBの巨人・高橋由伸監督が在学時に講師を務めたこともある。」

講師には大久保秀昭監督のほか、キャプテンで外野手の重田清一選手（4年）、捕手の木村健人選手（同）、投手の小原大樹選手（同）ら3選手が登場。少年の健全育成と野球技術の向上を図ろうと毎年続いてお



慶大野球部から熱心な指導を受ける子どもたち＝八街市

ちばは打撃や投球などの技術について講師から丁寧に指導を受けた。選手らによるバッティングのデモンストレーションも行い、力強いスイングでボールが大きく飛ぶと大歓声が湧き上がった。参加した子どもたちは「分かりやすく教えてもらって良かった」「教わったことを生かして野球を続けたい」と喜んでいた。